

教職員アンケート(1学期)

< 4…ほぼ達成(9割以上) 3…おおむね達成(7割以上～9割未満) 2…あまり達成できていない(5割以上～7割未満) 1…全く達成できていない(5割未満)>

大項目	目標項目	1学期の重点【成果指標】	子供の姿 (4段階)	具体的方策【取組指標】	評価 (4段階)
学び育成	A1 話す聞く	自分の思いを伝え、反応しながら聞く	2.9	教師の話：考えをつくる：交流＝1：1：1を意識し、交流の中で話し方・聞き方についての指導を行っている。	2.8
	A2 自力解決	自分の考えを書いたり説明したりする	2.8	一人思考、説明、解釈の場をの確保等、自力解決するための工夫を行っている。	2.9
	A3 声の大きさ	全体に聞こえる声で発言する	2.9	65dbを意識して声を出すように指導したり、声を出すための指導の工夫を行っている。	2.8
	A4 授業づくり	主体的に考えて発表する	2.6	子ども達自身で気づき、考え、学び合うような学習展開(発問・交流)の工夫を行っている。	3.0

●どの項目も目標値3.2に満たない。特に、A4「主体的に考えて発表する」子供の姿の評価は、2.6と大変低い。2学期は、校内授業研修会を機会に、指導の改善を図っていく必要がある。

●A2「自分の考えを書いたり説明したりする」子供の姿は、2.8と目標値に満たないものの、昨年度1学期2.4に比べ0.4高くなっている。記述や発表のモデルを提示するなど指導を継続し、さらに高めていきたい。

自信育成	B1 自他の尊重	自分のよさや頑張りを見つける	3.2	帰りの会等で友達のよさや頑張りを見つけ伝える場を設定している。(認め合い 喜び合い)	3.5
	B2 挨拶	進んで挨拶をする	3.0	学校・家庭・地域での挨拶についての指導を適宜行っている。(挨拶の意義の指導 評価)	3.2
	B3 自主性	気づき、考え、行動する	2.5	教師からの指示ではなく、児童自らが考え決められる(自己決定)ような場の設定や声掛けをしている。	3.0
	B4 言葉遣い	相手を思いやる正しい言葉遣い	3.0	「ふわふわ言葉を使う」ことの徹底を目指し、適宜指導を行っている。(言い直しをさせるなど)	3.5

○B1「自他の尊重」は、子供の姿、教師の取組の評価共に目標値3.2を超えている。

●B3「気づき、考え、行動する」は、2.5と大変低い。昨年度も2.4と大変低かった。進んで行動できたことを称賛する機会を増やし価値付けを行って自主性を育てていきたい。

健康育成	C1 体力作り	天気の良い日には、外に出て遊んでいる	3.1	自己の目標を立てて体育学習を行ったり、外遊びを推奨したりしている。	3.1
	C2 病気の予防	手洗い・うがいの徹底	2.9	熱中症予防・感染症予防の徹底を図っている。(手洗い うがい 水分 帽子 換気等)	3.2
	C3 清掃	時間いっぱい黙々掃除をする	3.1	掃除の仕方を示し、教師も一緒に掃除に取り組んでいる。(掃除当番表の作成 率先垂範)	3.4
	C4 安全に気を付ける	安全や健康に気を付けて過ごしている	3.1	学校生活でのきまり「月の浦小のよい子」についての指導を行っている。	3.2

○どの項目も教師の自己評価が高い。指導を継続が図られている。

●C2「手洗い・うがいの徹底」の子供の姿の評価が低い。手洗い・うがいを休み時間前後に確認するなど意識付けを図っていきたい。

D 協働性の発揮・専門 的力量的の向上	D1 目標の共有化			毎月の学年徹底シートを共有し、学年チームで統一した指導を行っている。	3.2
	D2 学年研修会			教科指導や生徒指導、事務等で業務の分担を行い、学年研修会の効率化を図っている。	3.2
	D3 児童理解			子供を叱るより、よさや頑張りを見つけ、ほめている。	3.0
	D4 実践的指導力			校内研修や教科等研修会等の各種研修会へ参加し、同学年や職員に研修内容の報告を行っている。	3.0

○D1「目標の共有化」D2「学年研修会」で、目標値を達成している。学年で協働性が発揮されている。

●D2「児童理解」D4「実践的指導力」は、教師の自己評価が目標値に満たない。夏休みにアセスの分析を行ったり、人権レポート作成を通して、児童の変容を振り返ることで児童理解を深めて新学期を迎えるようにして欲しい。

E 域との連携・家庭・地	E 1 家庭学習の習慣化			家庭学習強化週間の実施や学習の手引きの活用を通した家庭との連携を図っている。	3.0
	E 2 家庭との連携			気になる児童や生徒指導上の問題等、家庭と連絡をとったり家庭訪問をしたりして解決している	3.4
	E 3 地域人材の活用			地域人材の（G T）の積極的な活用を計画・実施している。	2.8
	E 4 学校運営協議会			月の子共育プロジェクト会議の目標や活動を理解している。	2.7

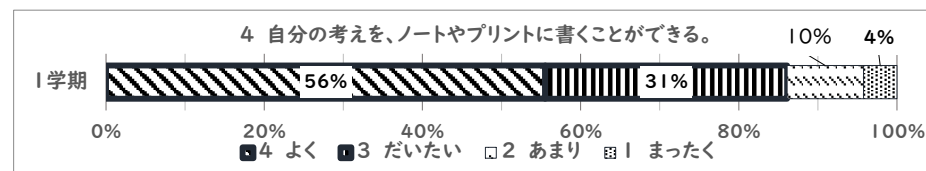
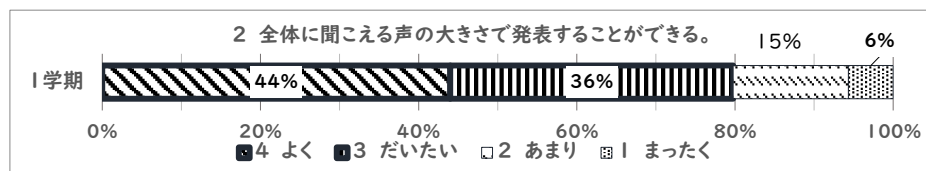
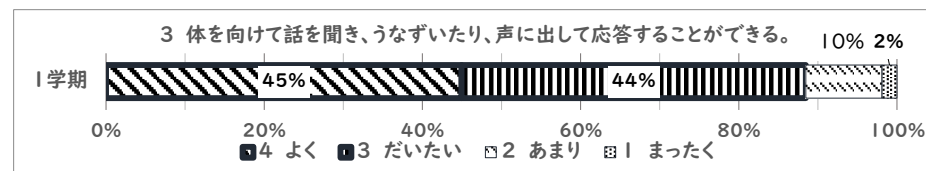
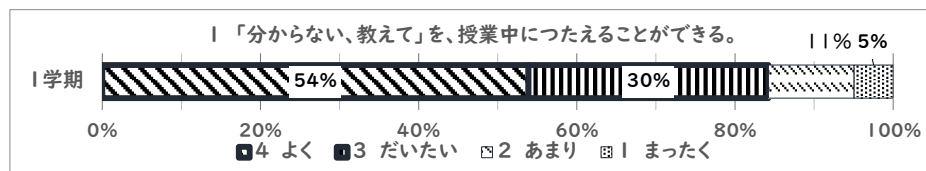
○E2「家庭との連携」で、目標値を達成している。家庭への発信、家庭からの相談の受容の充実が図られている。

●E3「地域人材の活用」E4「学校運営協議会」は、目標値を大きく下回っている。JRC活動の中にも地域貢献活動が位置づけられていることを意識し、意図的にカリキュラムに地域の人的・物的資源の活用を反映させていく必要がある。また、学校運営協議会の内容を教職員で共通理解すること、学校運営協議会を活用して地域の人的・物的資源を発掘していくことなど改善を図る必要がある。

児童アンケート（1学期）

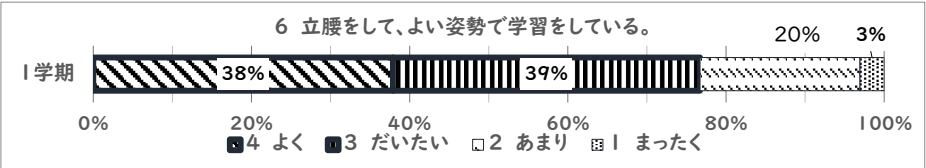
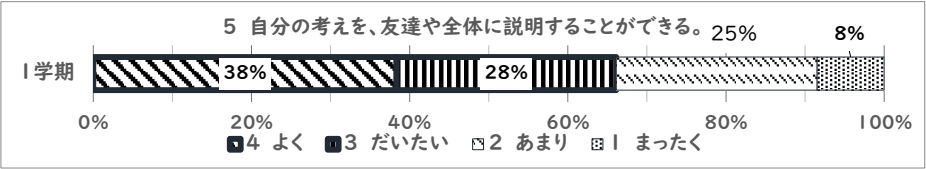
【学び】主体的に分かるまで聴き、分かり合う子供（学び合い）

		1 「分からない、教えて」を、授業中につたえることができる。				2 全体に聞こえる声の大きさを発表することができる。				3 体を向けて話を聞き、うなずいたり、声に出して応答することができる。				4 自分の考えを、ノートやプリントに書くことができる。			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	425	229	129	46	21	187	152	62	24	191	185	41	8	236	130	41	18
%		54%	30%	11%	5%	44%	36%	15%	6%	45%	44%	10%	2%	56%	31%	10%	4%



- 1, 2, 3, 4は肯定的な回答が目標値の80%を超えている。特に、1「「分からない、教えて」を、授業中につたえることができる。」は、昨年度1学期より9%も高い。指導の充実が図られ、児童の学び方の向上に繋がっていることが分かる。
- 2「全体に聞こえる声の大きさを発表することができる。」は児童自身の肯定的な回答は80%だが、教師からの評価は、2.9と低かった。デジタル騒音計を適宜使用し、声の大きさを客観的な数値で評価し、意識付けを定期的に行っていくようにしたい。

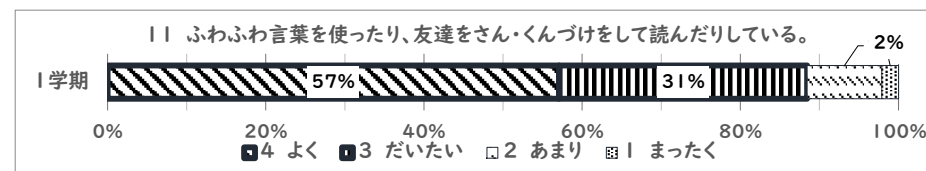
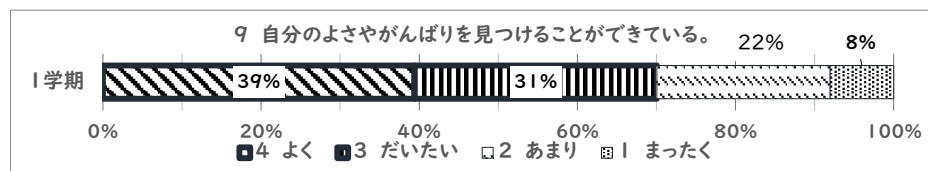
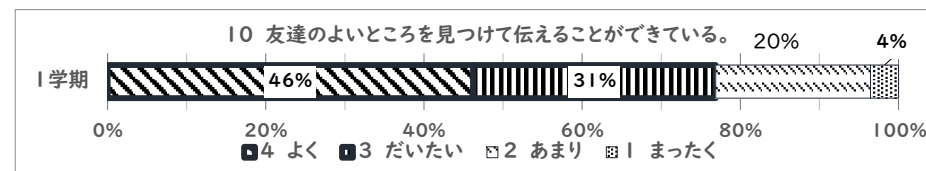
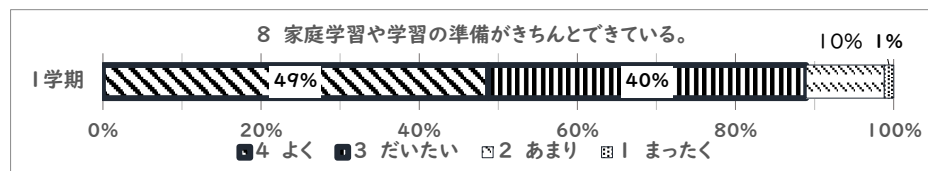
【学び】主体的に分かるまで聴き、分かり合う子供（学び合い）													
5 自分の考えを、友達や全体に説明することができる。					6 立腰をして、よい姿勢で学習をしている。					7 学習のふりかえりを、自分の言葉で書くことができている。			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	425	163	118	108	36	161	165	86	13	256	120	33	16
%		38%	28%	25%	8%	38%	39%	20%	3%	60%	28%	8%	4%



○7「学習のふりかえりを、自分の言葉で書くことができている」は、肯定的な回答が高い。主題研修の積み重ねが日頃の学習へも生きていていると考える。

●5「自分の考えを、友達や全体に説明することができる。」は、肯定的な回答が大変低い。これは、昨年度も大変低かった。また、教師アンケート「自分の考えを書いたり説明したりする」も2.8と低く合致する。児童自身が苦手意識をもっていることが分かる。どのように表現したら良いのかモデルを示し、よい表現を真似して表現の仕方を身に付けていくようにしてほしい。

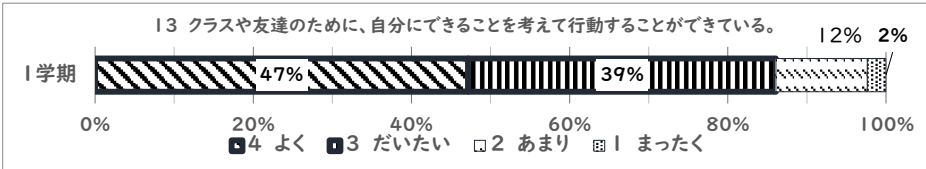
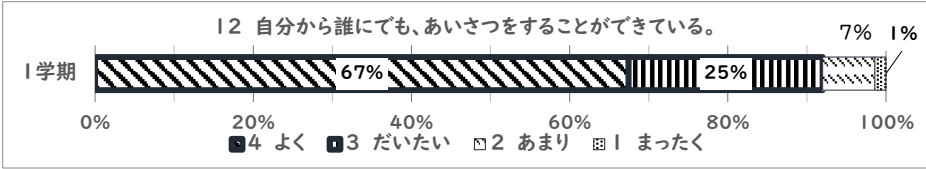
【人間性】自他の良さや多様性尊重し、他者を思い支え合う子供（支え合い）																			
8 家庭学習や学習の準備がきちんとしてきている。					9 自分のよさやがんばりを見つけることができている。					10 友達のよいところを見つけて伝えることができている。					11 ふわふわ言葉を使ったり、友達をさん・くんづけをして読んだりしている。□				
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく		
合計人数	425	207	171	42	5	167	130	93	34	196	130	83	15	242	133	40	9		
%		49%	40%	10%	1%	39%	31%	22%	8%	46%	31%	20%	4%	57%	31%	9%	2%		



○8「家庭学習や学習の準備がきちんとしてきている。」11「ふわふわ言葉を使ったり、友達をさん・くんづけをして読んだりしている。」は、肯定的な回答が大変高い。

●9「自分のよさやがんばりを見つけることができています。」10「友達のよいところを見つけて伝えることができています。」は、肯定的な回答が低い。自他の良さを認め合う共感的な人間関係の構築が必要である。教科学習の中、振り返り活動の際、友達のがんばり、自分のがんばりを振り返る場を設定するなど、児童が自他の良さを認める場増やしていくようにしたい。

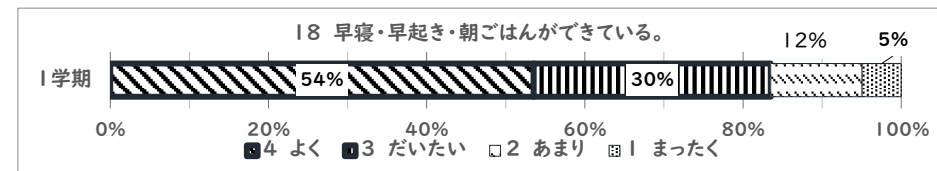
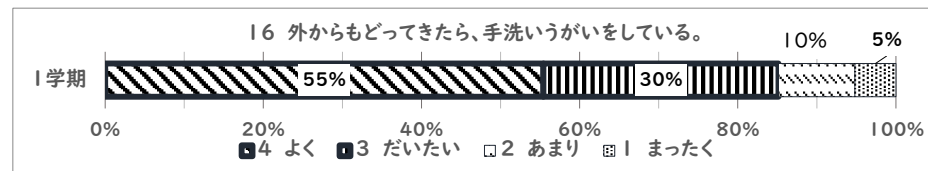
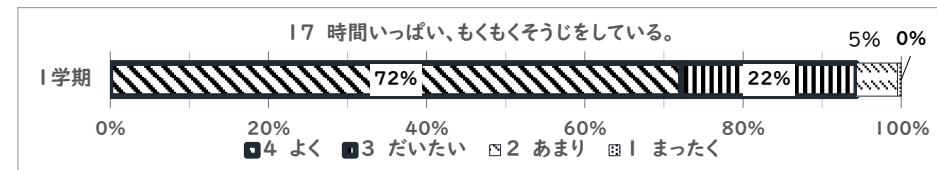
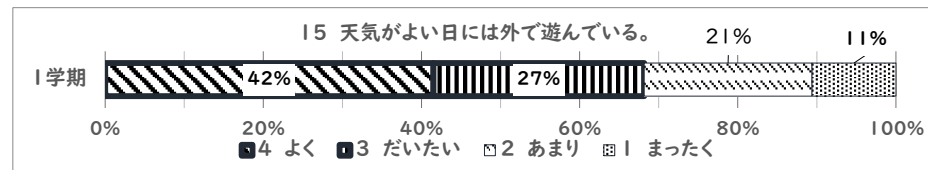
【人間性】自他の良さや多様性尊重し、他者を想い支え合う子供（支え合い）													
12 自分から誰にでも、あいさつをすることができている。					13 クラスや友達のために、自分にできることを考えて行動することができている。					14 先生や大人の人に、ていねいな言葉づかいをすることができている。			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	245	286	104	28	6	200	165	49	10	277	120	22	5
%		67%	25%	7%	1%	47%	39%	12%	2%	65%	28%	5%	1%



○ どの項目も目標値80%を大きく上回っている。日頃の指導ありがとうございます。

児童アンケート（1学期）

【健康】心と体を鍛え、切磋琢磨し互いに高め合う子供（高め合い）																	
		15 天気がよい日には外で遊んでいる。				16 外からもどってきたら、手洗いうがいをしている。				17 時間いっぱい、もくもくそうじをしている。				18 早寝・早起き・朝ごはんができています。□			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	424	176	113	90	45	235	126	41	22	306	94	22	2	227	127	49	21
%		42%	27%	21%	11%	55%	30%	10%	5%	72%	22%	5%	0%	54%	30%	12%	5%

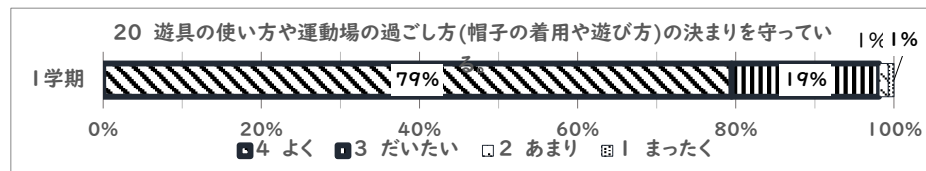
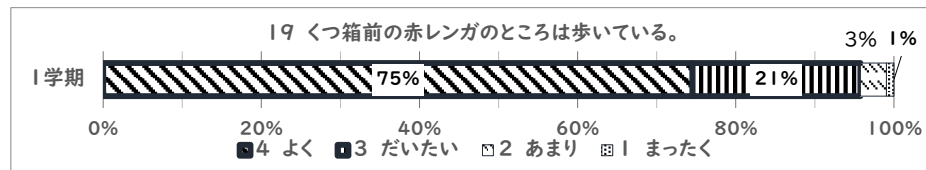


○ 16, 17, 18は子供の肯定的な回答は大変高い。しかし、16に関しては、教師の児童の姿の評価は2.9ポイントと低かった。教師が求めている姿を児童と共有し、手洗いうがいの児童の意識をさらに高めていきたい。

●15「天気がよい日は外で遊んでいる。」は、肯定的な回答が大変低い。熱中症対策で外遊びができないことが要因と考えられる。

児童アンケート（１学期）

【健康】心と体を鍛え、切磋琢磨し互いに高め合う子供（高め合い）													
19 くつ箱前の赤レンガのところは歩いている。					20 遊具の使い方や運動場の過ごし方（帽子の着用や遊び方）の決まりを守っている。					21 教室や廊下（右側歩行など）で安全な過ごし方ができている。			
	実施人数	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく	4 よく	3 だいたい	2 あまり	1 まったく
合計人数	424	316	90	14	4	337	79	5	3	245	143	31	5
%		75%	21%	3%	1%	79%	19%	1%	1%	58%	34%	7%	1%



○ どの項目も子供の意識は高いことが分かる。教師評価C4でも「安全や健康に気を付けて過ごしている」2.9、「学校生活でのきまり」「月の浦小のよい子」についての指導を行っている」3.2と評価が高かった。昨年度はホールでの過ごし方が課題であったが、本年度は、昨年度に比べホールでの過ごし方も改善されているように感じる。新学期に1学期よくきまりを守れていたことを伝え、意識を継続できるようにしていきたい。

保護者アンケート(1学期)

①家庭学習・学習準備

4	83人	25%
3	166人	51%
2	61人	19%
1	17人	5%
計	327人	100%

②進んで発表

4	91	28%
3	111	34%
2	92	28%
1	33	10%
計	327人	100%

③考えを書く

4	92	28%
3	163	50%
2	58	18%
1	14	4%
計	327人	100%

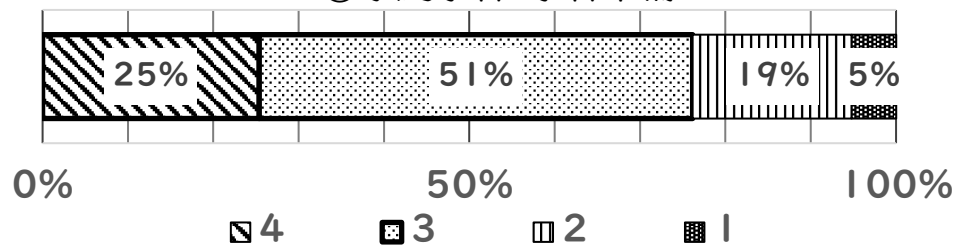
④自分のよさや頑張り

4	73	22%
3	173	53%
2	70	21%
1	11	3%
計	327人	100%

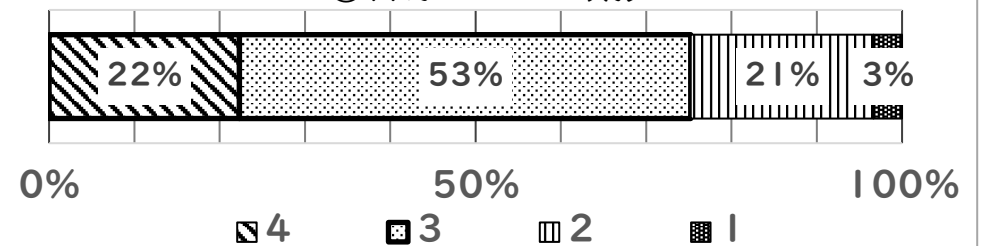
⑤進んで挨拶

4	131	40%
3	138	42%
2	48	15%
1	10	3%
計	327人	100%

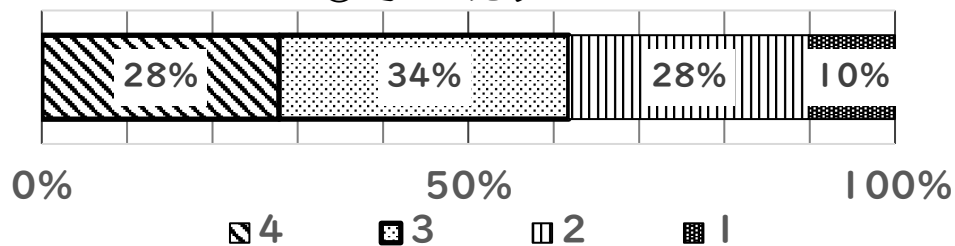
①家庭学習・学習準備



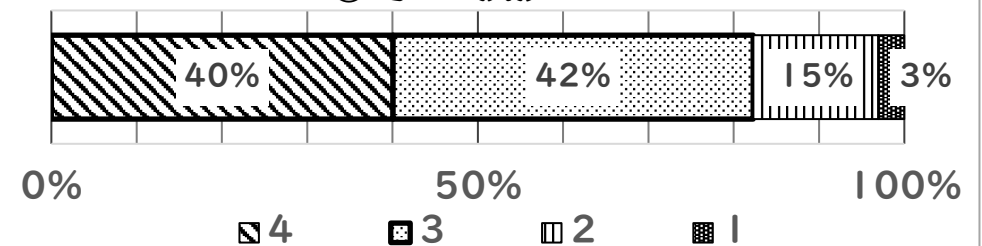
④自分のよさや頑張り



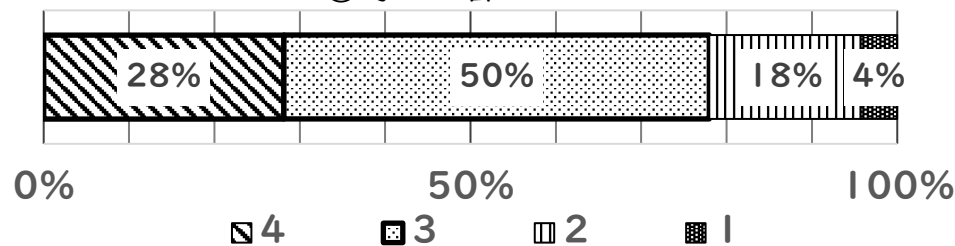
②進んで発表



⑤進んで挨拶



③考えを書く



○⑤「進んで挨拶」で、肯定的な回答が高い。これは、児童評価、教師評価共に高かった。指導の効果が継続されている。

○昨年度1学期に比べ、③「考えを書く」は7%高くなっていた。

●全体的に肯定的回答が低い。特に、「②進んで発表」は、児童評価「自分の考えを説明することができる」も低かった。2学期以降重点的に

保護者アンケート(1学期)

⑥相手を思いやる言葉遣い

4	97人	30%
3	175人	54%
2	50人	15%
1	5人	2%
計	327人	100%

⑦早寝・早起き・朝ご飯

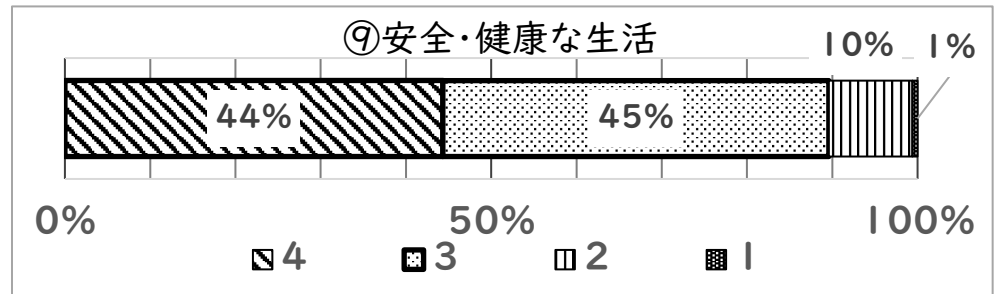
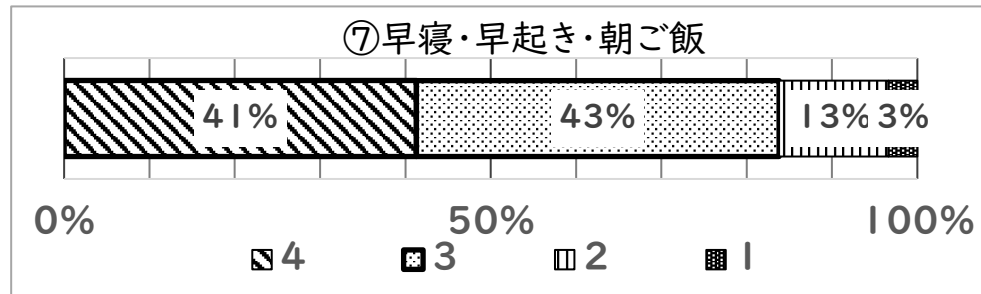
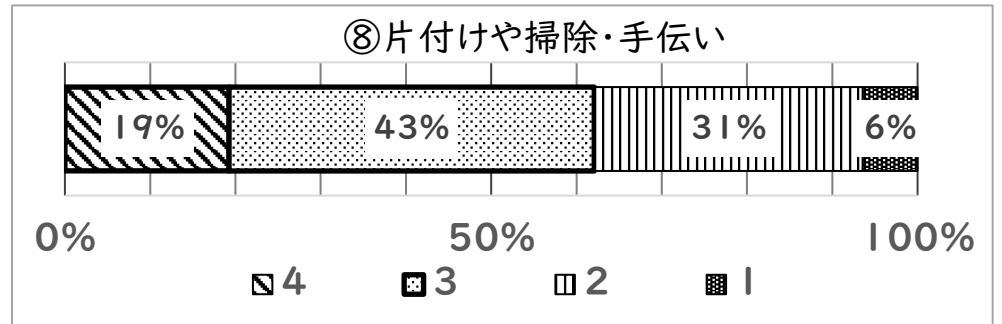
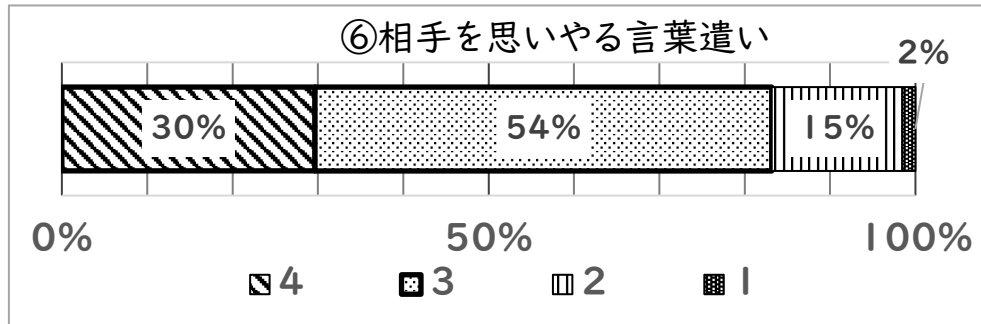
4	135	41%
3	139	43%
2	42	13%
1	11	3%
計	327人	100%

⑧片付けや掃除・手伝い

4	63	19%
3	140	43%
2	103	31%
1	21	6%
計	327人	100%

⑨安全・健康な生活

4	145	44%
3	148	45%
2	32	10%
1	2	1%
計	327人	100%



○⑥「相手を思いやる言葉遣い」⑦「早寝・早起き・朝ご飯」⑨「安全・健康な生活」で、肯定的な回答が高い。

●⑧「片付けや掃除・手伝い」で、肯定的回答が62%と極めて低い。児童評価17「黙々掃除」では、肯定的回答は、94%と高かった。教師の児童の姿の評価3「清掃」では、3.1ポイントとほぼ目標値の8割だった。学校での清掃の姿が、家庭生活に生かされていないことが分かる。